

平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年3月31日

上場会社名 ケイティケイ株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 主計

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 木村 裕史

TEL 052-931-1881

四半期報告書提出予定日 平成22年4月2日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績(平成21年5月21日～平成22年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	6,743	△7.3	153	58.1	144	58.3	85	80.6
21年5月期第3四半期	7,271	—	97	—	91	—	47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	23.40	—
21年5月期第3四半期	12.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	4,360	2,087	47.9	574.00
21年5月期	4,521	2,050	45.3	563.72

(参考) 自己資本 22年5月期第3四半期 2,087百万円 21年5月期 2,050百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	7.00	—	7.00	14.00
22年5月期	—	7.00	—	—	—
22年5月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年5月21日～平成22年5月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,004	△5.4	171	40.8	163	41.0	84	43.3	23.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年5月期第3四半期 | 3,675,000株 | 21年5月期 | 3,675,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第3四半期 | 37,550株 | 21年5月期 | 37,550株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年5月期第3四半期 | 3,637,450株 | 21年5月期第3四半期 | 3,637,450株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年5月21日から平成22年2月20日まで)におけるわが国経済は、輸出の緩やかな増加、設備投資の下げ止まりにより景気は持ち直しの傾向にありますが、雇用情勢の一層の悪化や企業収益の大幅な減少、デフレによる販売価格の低下傾向を強いられるなど、当社の商品売上にも影響を及ぼしております。

このような経済環境のもと、当社グループを取り巻く経営環境は企業収益の悪化による消耗品需要縮小の中で、OAサプライ商品群のうち新品トナーカートリッジを中心に紙製品のPPC用紙及びオーダー用紙の販売量が落ち込み、売上高が減少いたしました。

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパクトナー)は、競合各社との厳しい価格競争の中、お客様への満足度を図るために新たに品質保証推進本部を発足させ、品質及びサービスの向上を徹底して行いました。更に関東地区の大型販売店への販売推進サポートを強力に行った結果、前第3四半期連結累計期間に比べ販売本数が14.8%伸長するものの、販売単価の下落により売上高は0.2%減少いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、物流構造の改善による運賃及び荷造費の削減、各地域営業部では効率的な営業活動による車両維持費の削減及び営業拠点の賃借料等の見直しを行うことで、経費の大幅な削減をいたしました。

自社製品であるリパクトナーの生産を担う連結子会社の株式会社アイオーテクノ駒ヶ根工場では、生産のライン化による抜本的な生産態勢の見直しによる生産効率の向上により、売上総利益率が大幅に改善され、当社グループの収益強化に貢献いたしました。

これらの結果、売上高は6,743百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。営業利益は153百万円(前年同四半期比58.1%増)、経常利益は144百万円(前年同四半期比58.3%増)、四半期純利益は85百万円(前年同四半期比80.6%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ161百万円減少し、4,360百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が31百万円減少しましたが、現金及び預金が35百万円、受取手形及び売掛金が40百万円、その他が52百万円それぞれ増加したこと等により前連結会計年度末に比べ97百万円増加の2,666百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が6百万円増加しましたが、無形固定資産が29百万円、投資その他の資産が235百万円それぞれ減少したため前連結会計年度末に比べ258百万円減少し1,693百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が20百万円、未払法人税等が18百万円、賞与引当金が50百万円それぞれ増加しましたが、その他が71百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ6百万円増加し2,183百万円となりました。

固定負債は、役員退職慰労引当金が203百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ205百万円減少し88百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が34百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ37百万円増加し2,087百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し、770百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は52百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益146百万円、役員退職慰労引当金の減少額203百万円、売上債権の増加額44百万円、賞与引当金の増加額50百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は154百万円となりました。これは、主に保険積立金の解約による収入238百万円、有形・無形固定資産の取得による支出56百万円、保険積立金の積立による支出34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は65百万円となりました。これは、配当金の支払額50百万円及び長期借入金の返済による支出14百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予測に関しましては、新品トナーカートリッジ等の販売量減少に伴う売上高の減少分をリサイクルトナーカートリッジ、リサイクルインクカートリッジ、純正インクカートリッジを中心に拡販することで補っておりますので、現時点では平成21年12月25日発表の通期の業績予想に変更はありません。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、平成21年12月25日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況について大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを使用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	918,936	883,212
受取手形及び売掛金	1,459,847	1,419,280
有価証券	20,938	20,914
商品及び製品	152,193	183,282
仕掛品	1,059	252
原材料及び貯蔵品	43,432	44,760
その他	81,416	28,584
貸倒引当金	△11,377	△10,980
流動資産合計	2,666,447	2,569,307
固定資産		
有形固定資産		
土地	740,319	740,319
その他(純額)	421,619	415,148
有形固定資産合計	1,161,939	1,155,467
無形固定資産		
投資その他の資産	151,442	181,106
投資有価証券	54,576	59,746
その他	337,962	564,476
貸倒引当金	△12,243	△8,247
投資その他の資産合計	380,295	615,975
固定資産合計	1,693,677	1,952,550
資産合計	4,360,124	4,521,857
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,025,726	1,005,472
短期借入金	807,832	818,422
未払法人税等	38,596	20,072
賞与引当金	50,047	—
その他	261,323	332,721
流動負債合計	2,183,525	2,176,689
固定負債		
長期借入金	23,646	27,975
役員退職慰労引当金	55,658	259,094
その他	9,380	7,563
固定負債合計	88,685	294,632
負債合計	2,272,210	2,471,322

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成22年 2 月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 5 月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	259,675
利益剰余金	1,553,437	1,519,215
自己株式	△20,883	△20,883
株主資本合計	2,086,903	2,052,681
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,010	△2,145
評価・換算差額等合計	1,010	△2,145
純資産合計	2,087,914	2,050,535
負債純資産合計	4,360,124	4,521,857

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 5 月21日 至 平成21年 2 月20日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 5 月21日 至 平成22年 2 月20日)
売上高	7,271,120	6,743,736
売上原価	5,546,447	5,005,841
売上総利益	1,724,672	1,737,895
販売費及び一般管理費	1,627,540	1,584,346
営業利益	97,132	153,548
営業外収益		
受取利息	1,198	359
受取配当金	822	755
受取家賃	1,852	1,507
受取手数料	—	1,906
その他	4,567	3,500
営業外収益合計	8,440	8,029
営業外費用		
支払利息	13,143	11,263
その他	1,087	5,755
営業外費用合計	14,230	17,019
経常利益	91,341	144,559
特別利益		
保険解約益	—	9,279
特別利益合計	—	9,279
特別損失		
投資有価証券評価損	3,531	7,284
特別損失合計	3,531	7,284
税金等調整前四半期純利益	87,810	146,554
法人税、住民税及び事業税	44,714	40,459
法人税等調整額	△4,050	20,948
法人税等合計	40,664	61,408
四半期純利益	47,146	85,146

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年5月21日 至平成21年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月21日 至平成22年2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,810	146,554
減価償却費	68,762	69,989
のれん償却額	4,640	4,640
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18,867	4,393
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,934	△203,435
賞与引当金の増減額 (△は減少)	47,286	50,047
受取利息及び受取配当金	△2,020	△1,115
支払利息	13,143	11,263
有形固定資産除却損	707	2,920
保険解約損益 (△は益)	—	△8,952
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,531	7,284
売上債権の増減額 (△は増加)	19,177	△44,504
たな卸資産の増減額 (△は増加)	22,924	31,610
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,393	20,253
その他	△56,617	△113,303
小計	183,019	△22,355
利息及び配当金の受取額	2,020	1,115
利息の支払額	△13,134	△11,271
法人税等の支払額	△35,354	△19,966
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,551	△52,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△91,292	△11,333
定期預金の払戻による収入	56,044	12,013
有価証券の取得による支出	△63	△24
有形固定資産の取得による支出	△1,954	△41,060
有形固定資産の売却による収入	—	1,433
無形固定資産の取得による支出	△41,015	△15,563
投資有価証券の取得による支出	△2,053	△2,056
投資有価証券の償還による収入	—	5,026
差入保証金の差入による支出	△2,270	△4,978
差入保証金の回収による収入	937	9,383
保険積立金の積立による支出	△9,214	△34,938
保険積立金の解約による収入	—	238,980
長期前払費用の取得による支出	△295	△2,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,178	154,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△15,579	△14,919
配当金の支払額	△49,812	△50,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,391	△65,281
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△20,019	36,404
現金及び現金同等物の期首残高	662,865	734,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	642,846	770,531

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年5月21日 至 平成22年2月20日)

当社及び連結子会社は、トータルオフィスサプライヤーとして、同一セグメントに属するリサイクル商品、OAサプライ商品、IT商品等のオフィス関連商品の販売を事業としており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

②所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年5月21日 至 平成22年2月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する海外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

③海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年5月21日 至 平成22年2月20日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。